

二ナリシカ北米合衆國ノ新海岸砲ハ之レニ優ルコト數等ナリ彼くるつぶ砲ハ若シ之ヲある  
 ぶす山ノぶれせんとぢぢあ峰ニ据ヘ四十四度ノ仰角ヲ以テ發射セハ砲彈ハもんぶらんノ山  
 顛上高サ八千九百五十六呎八ノ處ヲ通過シテ山脈ノ向側ナルしやもにノ近傍ニ墜下スル  
 勘定ナリ然ルニ米國ノ新砲ハ砲彈ノ達スヘキ最高距離五哩四分三以上ナレハもんぶらん(高  
 一万五千七百七十九呎)下ばいくすびく(高一万四千八十三呎)トヲ合セタル高ヨリモ尙ホ上  
 方ヲ通過スヘシ新砲ノ全長ハ四十九呎三吋ニシテ後部ノ直徑六十吋砲口ノ徑二十八吋砲孔  
 ノ長三千七呎四吋半彈藥室ノ徑十八吋九長サ九十吋七砲ノ全重量百二十六噸ナリト云フ(か  
 つしやすまがじん)

右五件 T.N

○雜 記

稻田灌溉養水試驗田水量取調表 (明治三十三年試驗)

試驗田所在地	試驗田土質	試驗田		試驗田ニ要セシ水量	全上一坪ニ付二十四時 間ニ要セシ水量
		面積	養水量試驗日數		
岡山縣岡山市大字綱岡	砂 土	一、三四〇坪	九四日	△ <sub>上方</sub> 八七、三九八 五六、二八四	七〇
鳥取縣岩美郡美保村大字 的場	青赤色ヲ帶ヒタル 粘土	一、〇一七	九六	△ 八一、九六四 四七、二九四	三六
香川縣香川郡園座村大字 山崎	粘土ニシテ少シク 砂ヲ混セリ	八三六	一〇一	△ 一三、四二七 五二、二五一	三五
廣島縣深安郡春日村大字 吉田	青色ヲ帶ヒタル粘 土	九八五	一〇〇	△ 二八、八三〇 六八、五〇九	三二

稻田灌溉養水試驗田水量取調表 (附屬) (明治三十三年試驗)

備考 本表中△印ヲ附スルモノハ蒸發量ヲ扣除セザルモノナリ試驗田ハ孰レモ昨三十二年ト  
全一ヶ所ナリ尤モ山口縣試驗田面積ハ減少ス

山口縣佐波郡三田尻村大字三田尻	田面以下四寸砂壤土夫ヨリ以下粘土	七四八	九九	△ 四三、七二七 八〇、三二二	三一	△	五九〇 八五
嶋根縣籾川郡知井宮村大字知井宮本郷	砂交リ土	五九四	九〇	△ 一三、三一 四五、六四三	八二	△	二四九 八五四
愛媛縣溫泉郡素鷲村大字枝松	田面以下二尺五寸乃至三尺迄ハ方言ノ相土又ハ苦土ニシテ夫ヨリ以下ハ赤色粘土	八三五	九四	△ 二一、三一 二五、六四八	〇一	△	七一五 二五七

試驗田所在地	水槽ヨリ試驗田へ流入セシ水量	雨量	蒸發	試驗田ヨリ他、放流セシ水量	差引即チ全ク試驗田ニ要セシ水量
岡山縣岡山市大字網濱	一三、八四七・九	六、四二四・八	六八、八六七・二	一三、九九六・〇	△ 一八七、三九七 一五六、二八四 六七
鳥取縣岩美郡美保村大字的場	二七、四六二・九	七、〇三三・五	四五、三五六・六	一七、二七六・四	△ 四一、九六四 八七、二九〇 三四
香川縣香川郡圓座村大字山崎	四〇、六五六・二	六、〇三三・〇	三八、八三三・四	四八、五七三・元	△ 一三、四二七 五二、二五一 三九
廣島縣深安郡春日村大字吉田	二四、四三三・二	六、八四四・三	五九、六七九・八	四六、八七三・〇	△ 六八、八三〇 一一八、五〇九 三三
山口縣佐波郡三田尻村大字三田尻	五、五〇二・〇八	五、七七五・三	三六、五九五・五	二五、〇四三・〇四	△ 四三、七二七 八〇、三二二 二六
嶋根縣籾川郡知井宮村大字知井宮本郷	二六、〇九八・八	三、七二二・八	三三、三三六・一	一八、一七四・〇	△ 一三、三一 四五、六四三 七九
愛媛縣溫泉郡素鷲村大字枝松	一七、〇〇〇・九四	七、六〇八・八六	四二、五四九・〇	一七、四三四・八〇	△ 二一、三一 二五、六四八 〇〇

雜記